

まぢの出来事



寒さも忘れて大感動

あいすらんどで流水結婚式

もんべつ流水まつりのイベント「流水結婚式」が2月11日、まつり会場にあるメイン水像・国会議事堂ステージで行われました。流水あいすら



▲のこざりて夫婦の共同作業「アイスカット」

んど共和国(小島光夫大統領)が主催する恒例行事で、事前に応募のあったカップルの挙式。2人は寒さで頬を真っ赤にしながら永遠の愛を誓い合



▲台湾の子どもたちも「ちびっこ船長」に

ちびっこ船長も国際化

ガリンコII予約順調

今年で22回、26組目の挙式となります。結婚カップルは埼玉県ふじみ野市に住む永井

いきました。

豪(32)・京子(30)夫妻。神父役の小島大統領が「変わらぬ愛を誓いますか」と問うと2人は力強く「はい」と宣誓。会場からの大きな拍手を受けていました。

緊張ぎみの2人も、「ウェディングケーキ入刀」をアレンジした「ウェディングアイスカット」では大きな笑みがこぼれていました。

砕氷観光船ガリンコ号IIの企画「ちびっこ船長」が人気を集めています。台湾や香港など海外客の子どもにもよる「国際版」も実現し、帰国後の口コミによる観光誘致効果が期待されています。

今シーズンの冬期運航は1月20日にスタート。

女性船長研修生の登場や例年より早かった流水初日の観測などで、総予約数は過去最多ペースを維持しています。特に海外客予約は大幅に伸びており、ガリンコ号を運営するオホーツク・ガリンコタワ

株式会社東亜アジアで行っている海外宣伝活動の成果

が現れてきたようです。

新千歳⇄紋別便5日に初便

2月の土・日限定運航

北海道エアシステム(HAC、本社・千歳)の2月の各土・日曜日に限定した新千歳⇄紋別便、S A A B(サーブ)340B型機(乗客定



▲紋別空港に降り立ったHACのS A A B 340B型機

員36人)の運航が5日からスタートしました。当初4日からの予定でしたが、同日新千歳空港の天候不良で欠航。出鼻をくじかれた格好となりましたが、その後の利用状況はまずまず。高搭乗率の実績を残し、今後の定期便再開を実現させたいと関係者は意気込みをみせていました。

流水まつり開催中の11日の新千歳発紋別行は満席、12日も26人と、流水観光の順調さを示しました。紋別発便は主に市民が利用し、札幌まで1時間足らずの快適な空の旅を楽しみました。

幻想的なあかり広がる

2年目の「氷灯りの街」

街角を手作りのアイスキャ

ンドルやイルミネーションで



▲「燃える氷」の燃焼実験

飾る「2006氷灯りの街もんべつ」のイベントが、流氷まつり期間と同じ2月9日から12日まで行われました。11日にメイン会場の「氷紋の駅」駐車場で開かれたオープニングセレモニーでは、点火式や名付け親大賞授賞式、もちまきのほか、オホーツク海の海底下に大量に埋蔵するといわれる未来の資源「メタンハイドレート」の燃焼実験も行われ、集まった市民の関心を集めました。



▲メイン会場の手作りのアイスクャンدل

流氷まつりミニ特集



▲関係者らによるテープカットで開幕（9日）



「沖揚げ音頭」では大漁を祈願（12日）



▲寒さを吹き飛ばす「よさこいフェスティバル」（12日）

第44回もんべつ流氷まつりが2月9日から12日まで、紋別市海洋公園イベント広場を会場に開催されました。後半の11日・12日を中心に多くの市民・観光客が訪れ、光り輝く氷像の美しさに見入りました。主催した同まつり実行委員会のもとめによると4日間の入り込み数は約9万人。後半の土日には8万人以上が集中し、青空のもと親子連れたち

きらめく氷像に歓声 流氷まつり連日ごきわう

の歓声が響きました。今年のメイン氷像は、昨年の総選挙など政治が大きくクローズアップされていることから「国会議事堂」が選ばれました。遠軽の陸上自衛隊第25普通科連隊・支援隊31人により高さ10・8メートル、幅23・8メートル、奥行き8メートルの大氷像が完成し、氷像前のアイスステージでは数々のイベントが繰り広げられました。



▲氷まつり会場



▲まつりを締めくくる流氷あいずらんど共和国のメンバーたち（12日）